

2017年9月20日

No. 605

4月、7月、9月、11月、1月、3月
20日発行

発行人
〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
公益社団法人 福島県畜産振興協会
電話 (024) 573-0515
FAX (024) 573-0565
URL <http://fukushimalin.gr.jp/index.htm>
anteil@bz03.plala.or.jp
kanri-eiseika@bz03.plala.or.jp
keikai@bz03.plala.or.jp
編集者 伊藤純一
印刷所 (株) 第一印刷

農業十傑に川内村の井出淳氏 第58回県農業賞(復興・創生特別賞)受賞

第58回福島県農業賞の復興・創生特別賞に川内村の酪農家井出淳氏が選ばれました。

井出淳氏は震災・原発事故で全村避難の指示が出された時期もありましたが、家族の思いを胸に長男としての自覚と後継者としての決意の下、両親と築いてきた酪農を守り続け被災後の幾多の困難を乗り越え、いち早く震災前と同様に地域に根ざした酪農経営を実現した事が評価され本賞

を受賞する事となりました。

現在乳牛70頭、生乳生産500t、自給飼料については除染後も線量が高くまだ使えない草地もあるものの新たな草地も取り込みつつ、多方面の方々からの支援により酪農事業の省力化・効率化を進め、以前にも増して前向きな経営を展開しています。

表彰式は8月29日に福島市の杉妻会館で行われました。



内堀知事と井出御夫妻

肉用子牛のための「“強化”哺育専用代用乳」ができました!!



“強化”哺育とは…

- ・子牛が本来もっている発育能力をフルに発揮させる哺乳方法です。
- ・従来の粉ミルクとは全く違った栄養バランスの粉ミルクを、通常よりも多く給与することにより、フレームのしっかりした牛に育ちます。また、固形飼料の摂取量低下を防ぎ、より食い込める素牛への成長を助けます。

福島県酪農業協同組合 〒969-1103 本宮市仁井田字一里壇17 TEL: 0243-33-1101(代)



第11回全国和牛能力共進会 ～本県勢 5 部門で優等賞～

高百合の子を軸にして大躍進、肉牛の部での好成績際立つ、県産ブランドの質の高さを全国に発信。肉牛の部全てで優等賞。うち、第7区高百合産子の肉牛群は全国5位、出品牛3頭すべてA5ランク、BMS11が2頭、BMS9が1頭、平均枝肉重量562kgは全国一。

また、第8区勝忠安福産子は出品牛3頭。そのうちA5ランクが2頭、A4が1頭に入り、総合で優等賞の6席を獲得する。第9区の去勢肥育牛は2頭出品しそれぞれ優等賞を獲得する。

本県勢成績

種牛の部

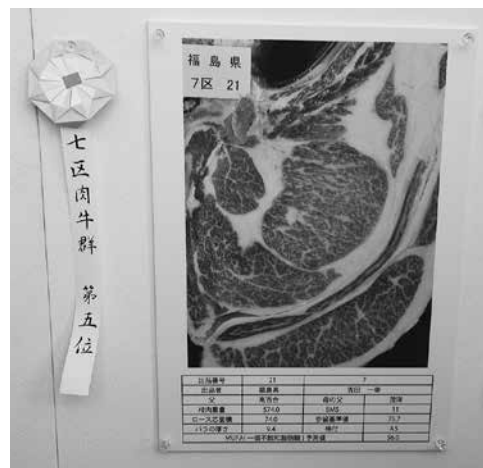
- 第1区（若雄） 1等賞 福島県農業総合センター畜産研究所
 第2区（若雌の1） 優等賞 佐藤一郎（相馬市）
 第3区（若雌の2） 優等賞 草野 隆（いわき市）
 第4区 出品なし
 第5区（繁殖雌牛群） 1等賞 すかがわ岩瀬和牛改良組合（根本宏一、須田忠一、佐藤光浩、佐久間清伸）
 第6区（高等登録群） 1等賞 鮫川村和牛改良組合（矢吹光雄、矢吹昭夫、矢吹和夫）
 第7区（総合評価群） 優等賞 種牛 福島県和牛育種組合（本田 功、鈴木勇治、佐藤巧一、石井重久）

肉牛の部

- 第7区（総合評価群） 優等賞（肉牛は5位） 肉牛 伊東博道（相馬市）、門馬敬典（南相馬市）、吉田一幸（平田村）
 第8区（若雄後代検定牛群） 優等賞 福島県農業総合センター畜産研究所沼尻分場
 第9区（去勢肥育牛） 優等賞 上野広行（二本松市）
 優等賞 鈴木廣直（大玉村）



福島県出品者一同（大会会場「夢メッセみやぎ」で）



第7区 肉牛群 本県出品牛

御 用 命 は

- ◎牛用・豚用・鶏用
各種ワクチン類
- ◎家畜防疫資材
- ◎家畜用医薬品
- ◎家畜用衛生資材

福島県動物薬品器材協会
事務局 株式会社アスコ内
☎（〇二四三）六三一・二四八八

小田島商事株式会社
福島市鎌田字御町十一の四
☎（〇二四）五五三・一六六七八

日本全業工業株式会社
福島営業所
郡山安積町笹川字平の上一一
☎（〇二四）九四五・一三〇六

株式会社アグロジャパン
福島営業部
福島市南中央三丁目五一
☎（〇二四）五二六・七三〇三

日新殖産株式会社
伊達市梁川町字東塩野川二五一
☎（〇二四）五七七・三一二二

株式会社アスコ
本宮市本宮字下台 18-12
☎（〇二四）六三三・二四八八

『動物用医薬品は、
正しく使用し、
休業期間を
厳守しましょう』

平成30年度畜産関係予算等を県知事に要望

県畜産関係団体連絡協議会（構成19団体）は、9月19日に内堀雅雄県知事を始め、県農林水産部長並びに県議会等に対し、来年度に向けて畜産関係予算編成の要望を行いました。

要望には県畜産関係団体連絡協議会宗像実会長を団長とし、JA福島中央会、JA全農福島、県酪農協、県農業共済組合、（公社）県獣医師会及び（公社）県畜産振興協会が出席しました。

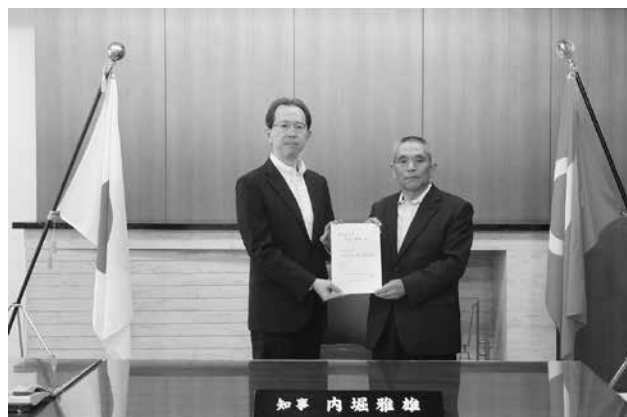
畜産を取り巻く情勢は、避難休業を余儀なくされた区域において、避難指示解除が段階的に進んでいますが、避難生活の長期化により生活基盤が定着化するなど、畜産農家の帰還による経営再開への道筋は、未だ不透明であり、更に本県は東日本大震災からの復興・再生の途上ですが、本年7月、日EU・EPAの大枠合意による、先が見通せない将来への不安や戸惑い、さらには飼料をはじめとする生産資材の高騰など、厳しい経営環境から離農に歯止めがかからず、県内の生産基盤は、かつて経験したことのない非常に厳しい状況にあります。

加えて、脆弱化した生産基盤等の再構築を図るとともに本県の将来を見据え、夢と希望を抱いて安心して経営の再開並びに次世代へ継続できる環境を整備し、意欲ある優れた担い手を一人でも多く確保育成していくことが喫緊の課題で課題であり、これらを踏まえて、以下の要望をしました。

1 畜産生産基盤の維持再生対策

避難休業を余儀なくされている被災畜産農家の経営再開や意欲ある担い手の確保育成に向け、生産基盤である家畜の導入や施設・機械の整備等に対し、畜産・酪農収益力強化整備等特別対策事業（畜産クラスター事業）を活用するなど経営体質の強化、また、飼料・資材等の高騰による、収益性の悪化、経営者の高齢化や後継者不足により、取り巻く環境は厳しい状況下にあり、大震災により脆弱化した生産基盤の再生に積極的な支援。

(1) 酪農生産基盤回復および酪農振興対策



- (2) 肉用牛生産基盤安定確保対策
- (3) 避難休業畜産農家経営再開支援対策
- (4) 次世代を担う若手農業者の育成対策

2 自給飼料生産基盤回復対策

放射性物質の拡散により中山間地を中心に除染後も放射線量が低下しない場合や再び暫定許容値を超える草地など、安定的な自給飼料の生産利用が難しい状況が依然として続いており、除染が困難な牧草地等の回復に向けた対策の強化および遊休農地等を利用した飼料作物の生産にあたり、土地の集約・再生に係る支援の強化並びに特に営農が再開された地域における生産組織等が行う自給飼料の生産、利用に対する総合的な支援。

3 放射性物質の除去低減及び堆肥等の処理・流通対策

畜産農家に一時的に保管されている8,000Bq/kgを超過する指定廃棄物（汚染稲ワラ・堆肥等）の中間貯蔵施設への運び出し・保管について国に対し、強い働きかけや安全性が確認されたものの風評等により畜産農家に滞留している堆肥については、広域的な有機性資源の循環利用を促進するとともに、農地除染後の地力回復を図るため積極的な利用を推進するなど、滞留堆肥の解消に向けた支援。

4 県産畜産物の風評払拭並びに流通消費対策

県の肉用牛放射性物質全頭検査や畜産物モニタリング

●品質と信頼の●



JA全農北日本くみあい飼料株式会社

くみあい配合飼料

本社
〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野一丁目12-1 いちご仙台イーストビル
TEL (022) 792-8040(代)

南東北支店 福島営業所
〒963-0725 郡山市田村町金屋字川久保23 JA全農福島郡山ビル2F
TEL (024) 941-0825
FAX (024) 941-0827

検査に加え、生産団体による自主検査で安全性を担保しているにもかかわらず、消費者等にその取組みが十分に伝わらず、適正な評価を得られない状況が続いており、知事によるトップセールスやマスメディア等を有効に活用し、消費者のみならず流通・小売業者等に対し、検査体制・内容等の更なる周知に努めるなど、風評払拭のための対策の継続、また、本県産農畜産物の風評払拭と福島ブランドの再構築に向け、食の安全を保証する第三者認証GAPの取得および実践に係るきめ細かな支援。

5 魅力ある種雄牛造成

地域の魅力ある産地形成、基盤の維持、拡充をはかるため、優良な基礎雌牛の整備による繁殖基盤の強化をす

めるとともに、「福島牛」のブランド強化及び風評被害の払拭をはかるためにも全国に発信できる種雄牛造成が急務であり、科学的手法を活用し、これまで以上に基幹種雄牛造成への取組強化。

6 産業動物診療獣医師の確保定着対策

本県の家畜疾病・衛生対策や食の安心・安全を支えている産業動物診療獣医師の高齢化が進み、加えて、新卒・新規参入者不足により適切な産業動物診療体制の堅持が困難な状況になりつつ、将来を見据え、本県畜産業の維持発展に不可欠である産業動物診療獣医師の確保、特に女性獣医師の定着に向け、総合的な支援対策。

飼料用米の給与技術について

福島県農業総合センター畜産研究所 沼尻分場

1 はじめに

我が国の畜産業は飼料の大部分を輸入に頼っており、平成28年度概算の飼料自給率は27%となっています。また、近年、国際的な穀物の需要増加に伴い、穀物の国際価格は上昇しており、配合飼料価格の高騰から畜産経営を圧迫している状況となっています。このため、自給飼料を利用することにより、配合飼料や輸入乾草の削減を図り、経営の安定化につなげていくことが必要です。

一方、食用米の需要量が年々減少している中、水田の多様な利活用が進められていますが、飼料用米については、各種助成等により、その生産拡大が図られているところです。この飼料用米はトウモロコシ等の配合飼料の原料と成分組成が同等であり、さらに、比較的安価であることから、畜産経営における飼料費の削減に効果的です。当场でも、肉用牛への飼料用米の利用方法について試験に取り組んできています。

そこで、これまでの成果と現在の取り組み状況について紹介したいと思います。

2 試験の概要

「黒毛和種の離乳から出荷までの一貫肥育体系における圧ぺん玄米30%の代替給与技術（平成25年度 研究成果）」

圧ぺん玄米とは、消化吸収を良くするために高温の蒸気で蒸した後、ローラーで潰して加工した玄米です。この圧ぺん玄米で配合飼料を30%代替給与した区、40%代替給与した区、通常の肥育用飼料を給与した区を設け試験を行った結果、40%代替給与区では17ヵ月齢以降に圧ぺん玄米を多く食べ残す傾向がありましたが、日増体量や枝肉成績に差はなく良好な成績でした。

表1 kg当たり圧ぺん玄米の生産費

	単価	kg単価(税込)
玄米	34 円/kg	35.7 円
圧ぺん加工費	9,600 円/t	9.6 円
袋代	42 円/袋	2.1 円
		47.4 円

※ H25 肉用牛配合飼料全国平均値
(バラ、農家購入価格) 58.7 円/kg

福島の大自然とみつばちからの恵み



天然はちみつをどうぞ

福島県養蜂協会

〒960-8502

福島市南中央三丁目36番地(福島県畜産振興協会内)

TEL 024-573-0515 FAX 024-573-0565



美容と健康に
おいしく
はちみつはいかが！

畜 産 福 島

表2 日増体量

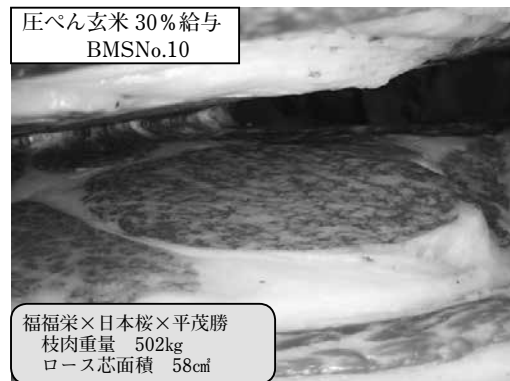
単位：kg／日／頭

月 齢	育成期	肥育前期	肥育中期	肥育後期	肥育全期間
	3～8	9～14	15～21	22～28	9～28
慣行区	0.97	1.06	0.94	0.74	0.91
圧ぺん玄米 30% 給与	0.98	1.11	0.89	0.72	0.91
圧ぺん玄米 40% 給与	0.97	1.02	0.85	0.73	0.85

※試験頭数 黒毛和種去勢牛各区 5 頭づつの計 15 頭

表3 枝肉成績

区	出荷月齢	枝肉形質									
		枝肉重量 kg	ロース芯面積 cm ²	バラ厚 cm	皮下脂肪厚 cm	BMS No	BCS No	光沢	締まり	きめ	上物率 %
慣行給与	29.3	546.2	60.0	9.0	2.7	9.2	3.2	4.8	4.8	4.8	100%
圧ぺん玄米 30% 給与	29.7	540.8	62.2	8.9	2.8	9.4	3.4	5.0	5.0	5.0	100%
圧ぺん玄米 40% 給与	29.0	513.2	57.8	8.6	2.4	8.4	3.6	4.8	4.6	4.8	100%



※育成期は粗タンパク質（CP）の要求量が高いため、不足する CP は大豆粕で補いました。

3 利用拡大に向けて

当场では、さらなる飼料用米の利用について検討するため黒毛和種肥育雌牛への飼料用米給与試験を行っているほか、飼料用米の利用を進めるために、県内の肉用牛肥育農家 7 戸において、飼料用米 20% 代替給与実証試験にも取り組んでいます。

今後も飼料用米の利用拡大に向けて、給与技術の開発に努めて参ります。



「勝忠安福」雌産子への圧ぺん玄米 30%代替給与試験



きれいな空気、きれいな水、そして新しい鉱塩。

動物用医薬品 ビタミンE・セレン配合ミネラル固型塩

鉱塩® E250 TZ

動物 未来 みつめる ひろがる



ZENOAQ

動物用医薬品 製造販売

日本全薬工業株式会社

福島県郡山市安積町恒川字平ノ上1-1

URL : www.zenoaq.jp

第30回みつばち慰霊祭

8月3日、はち（8）みつ（3）の日にちなんだこの日、第30回みつばち慰霊祭が県内養蜂協会会員、関係者の出席の下、会津若松市の鶴ヶ城公園内みつばちの杜公園で執り行われました。

森豊喜 会長のあいさつの後、森喜美 元会長の献花、満福寺住職による読経の中しめやかに会長、副会長、来賓の会津家畜保健衛生所、会津農林事務所農業振興普及部、農林水産部畜産課、福島県畜産振興協会、会員など多数の出席者が焼香しました。

みつばちの杜公園は、会員多年の念願であったみつばちの碑建立に伴い、会津若松市のご厚意により現在の土地を整地小公園とする条件で許可を得、昭和63年に造成されました。みつばちの碑は「蜜蜂が、人類に大きな恩恵を与えていることに感謝し、蜜蜂のもつ友愛、倦むことのない勤勉、ゆるぎない団結力、外敵に対しては死を賭して群れを守る犠牲的精神などを讃え、蜂

人として犠牲にした無数の愛蜂の小さな霊に、心から鎮魂の祈りを籠めて」建立されたもので、この想いがみつばちの碑の碑文となっています。また、この事例は当時全国的にも例をみない、自慢のできることでありました。

それから30年余りが経ち、今では市民の憩いの場となっている緑豊かな公園内で、参加者全員がみつばち達からの恩恵に感謝し犠牲になった小さな霊に合掌しました。



読経する満福寺住職



献花の様子

* うつくしま福島畜産mother'sクラブ e-EN出展 * ～郡山市「第12回農業総合センターまつり」～

福島県農業総合センターが研究成果や施設を広く公開し、農業への理解を深めることを目的に平成29年9月8日～9月9日に「第12回農業総合センターまつり」が開催されました。

続いていた長雨も上がり、秋晴れのもと、大人から子供まで多数の来場者がありました。（来場者数約4,220名）

昨年に続き2度目の出展でしたが、「楽しみにしていた」と、お客様に声をかけていただき、とても励みになりました。中でも食事の後、戻ってきて「おいしかったよ」と褒めてくれた小さなお子さまは、参加者のハートを奪っていきました。レトルト袋からゴロゴロと出てきた牛肉に見とれたお客様が多く、昼食用に準備した「マザーズシチュー」と「おもてなしカレー」は、両日早々と完売となりました。

イベントへの出展を通じ、お客様とのいろいろな出会いがあり、直接交流できる機会ですので、今後も積極的に活動して商品のPRに努めたいと改めて感じました。今後も応援よろしくお願いいたします！



完売しました。ありがとうございました！

☆小澤啓子さん県農業賞受賞おめでとう☆

うつくしま福島畜産mother'sクラブe-EN会員（初代副会長）の小澤啓子さんが、この度第58回福島県農業賞：農業経営改善部門で受賞し、会員一同喜びに沸いています。

もともとは酪農経営を営んでおり、マザーズクラブの設立にも力を注いでいただきました。現在もめん羊を飼養し、水稲、加工品の製造販売、グリーンツーリズム事業、子供たちへの食育活動、伝統食文化の継承活動など、幅広い活動が地域に大きく貢献し、この度の受賞へつながりました。

前向きで、一歩ずつ夢を実現していく姿にいつも勇気と元気を与えてくれています。やさしく器用な旦那様との二人三脚、素敵なお夫婦でこれからも会員を、地域をリードして行ってほしいと願います。

受賞おめでとうございます！



左端：小澤昌男さん
右端：小澤啓子さん（写真提供：古殿町産業振興課）

第30回福島県はちみつ品評会、展示即売

福島県養蜂協会

福島県養蜂協会主催、福島県、（一社）日本養蜂協会、（公社）福島県畜産振興協会の後援で第30回福島県はちみつ品評会を8月25日福島県農業総合センターにおいて開催しました。採蜜技術の向上とハチミツの品質向上、県養蜂の振興を図ることを目的として毎年開催され今回は39会員から102本のはちみつが出品されました。トチ蜜20本、アカシア蜜33本、その他蜜15種類49本の出品があり色とりどりに並べられたのはちみつはとてもきれいでした。

森豊喜福島県養蜂協会長の挨拶に続き福島県農林水産部畜産課長、（一社）日本養蜂協会の挨拶があり、福島県畜産課白石芳雄課長（審査長）、日本養蜂協会柳下浩幸理事、福島県畜産振興協会宗像実会長、日本はちみつマイスター協会平野のり子代表、福島県食品産業協議会池田善一副会長、福島県消費者団体連絡協議会高野イキ子理事、福島県養蜂協会森豊喜会長の7人の審査員により事前に糖度計で糖度を測定したトチ蜜、アカシア蜜、その他蜜の3区分で風味、色沢の審査をし13の賞を決定しました。今回は新たに農林水産大臣賞が設けられ、天候不良であまりはちみつが採れませんでしたでしたが例年に劣らないはちみつが多く出品されました。結果は別表のとおりです。

また、出品されたはちみつは、9月8、9日に開催された第12回農業総合センターまつりにて、展示即売をしました。「品評会出品はちみつを多くの方に食べていただく」

目的で展示されたはちみつは、平日にも関わらず多くの方にお買い求めいただき1日目にはすでに品薄になるほどの盛況ぶりでした。県産はちみつの試食も行い「県産はちみつの種類が多いこと、おいしいこと、そして安全安心であること」を発信しました。

賞 区 分	花 名	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	ト チ	長 嶺 清 志	会津若松市
福島県知事賞	アカシア	渡 辺 清 美	郡 山 市
福島県議会議長賞	アカシア	松 岡 休 助	郡 山 市
福島県議会議長賞	山 桜	松 岡 休 助	郡 山 市
（一社）日本養蜂協会会長賞	ト チ	鈴 木 賢 昭	磐 梯 町
（一社）日本養蜂協会会長賞	アカシア	池 澤 洋 一	白 河 市
（一社）日本養蜂協会会長賞	ト チ	松 本 吉 弘	会津若松市
福島テレビ社長賞	柿	近 藤 義 孝	会津若松市
（公社）福島県畜産振興協会会長賞	ト チ	山 田 雄 一	下 郷 町
（公社）福島県畜産振興協会会長賞	ト チ	長 沼 久 雄	会津若松市
福島県養蜂協会会長	百 花	後 藤 譲	郡 山 市
福島県養蜂協会会長	アカシア	菊 池 正 一	矢 祭 町
福島県養蜂協会会長	山 桜	根 本 政 智	郡 山 市



家 畜 取 引 状 況 報 告

平成29年 7～8 月 和牛子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	性別	頭 数 (頭)	取引価格 (円)			平均体重 (kg)	平均単価 (円/kg)	平均日齢 (日)	販 売 先	
			最 高	最 低	平 均				県 内	県 外
7	雌	371	1,316,520	214,920	717,140	290	2,476	283	197	174
	雄	0								
	去勢	401	1,287,360	23,760	838,438	314	2,670	277	170	231
	計	772	1,316,520	23,760	780,146	302	2,577	280	367	405
8	雌	335	1,345,680	293,760	738,220	284	2,601	285	149	186
	雄	0								
	去勢	425	1,333,800	563,760	836,301	311	2,691	278	214	211
	計	760	1,345,680	293,760	793,068	299	2,651	281	363	397

平成29年 7～8 月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

福島県酪農業協同組合

（税込み）

開催月	区分	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)		
				最 高	最 低	平 均
7 第261回	その他	ホル 雄	56	193,320	1,080	144,296
		ホルフリー	2	96,120	91,800	93,960
		F ₁ 雌	75	287,280	32,400	200,218
		F ₁ 雄	77	405,000	77,760	338,321
		和 牛 雌	10	619,920	436,320	537,840
		和 牛 雄	18	695,520	399,600	578,520
		和 牛 去 勢				
		計・平均	238	695,520	1,080	273,644
8 第262回	その他	ホル 雄	65	184,680	1,080	134,236
		ホルフリー	2	36,720	18,360	27,540
		F ₁ 雌	70	244,080	124,200	188,954
		F ₁ 雄	84	362,880	102,600	299,070
		和 牛 雌	5	438,480	367,200	391,824
		和 牛 雄	22	608,040	312,120	487,964
		和 牛 去 勢				
		計・平均	248	608,040	1,080	241,223

平成29年 7～8 月 乳子牛市場成績（県家畜市場）

JA全農福島県本部

（税込み）

開催月	性別	頭数 (頭)	取引価格 (円)			平均単価 (円/kg)	平均体重 (kg)
			最 高	最 低	平 均		
7	乳 妊 牛	0					
	E T 和 雌	0					
	E T 和 雄	12	624,240	309,960	517,770	4,924	105
	乳 雌 子	2	61,560	1,080	31,320	688	46
	乳 雄 子	24	168,480	1,080	117,495	1,645	71
	乳 去 勢 子	0					
	F ₁ 雌 (育成)	17	424,440	298,080	381,304	1,312	291
	F ₁ 去 (育成)	18	518,400	324,000	462,360	1,296	357
	F ₁ 雌 (スモール)	52	285,120	171,720	201,337	2,932	69
	F ₁ 雄 (スモール)	56	428,760	5,400	335,668	4,265	79
	計・平均	181	624,240	1,080	293,742	2,966	124
8	乳 妊 牛	0					
	E T 和 雌	2	419,040	415,800	417,420	4,825	87
	E T 和 雄	6	597,240	294,840	507,240	4,763	107
	乳 雌 子	0					
	乳 雄 子	22	187,920	2,160	104,613	1,538	68
	乳 去 勢 子	0					
	F ₁ 雌 (育成)	9	361,800	259,200	312,480	1,093	286
	F ₁ 去 (育成)	11	494,640	314,280	411,873	1,252	329
	F ₁ 雌 (スモール)	63	271,080	129,600	207,018	2,925	71
	F ₁ 雄 (スモール)	63	412,560	32,400	320,503	4,039	79
	計・平均	176	597,240	2,160	265,662	3,036	102

牛も安心 地球も安心

福島県推奨のたね



県奨励品種優良牧草・飼料作物種子
福島県畜産振興協会

〒960-8502 福島市南中央三丁目36番地
Tel 024-573-0515
Fax 024-573-0565

地方競馬 場外発売日程

上段「ニュートラック福島」(大井競馬専用場外)TEL.024-554-0040
下段「オーブス磐梯」(大井競馬専用場外)TEL.0242-74-1130

(10月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	⑥	月	火	水	木	金	土	⑦	⑧	火	水	木	金	土	⑨	月	火	水	木	金	土	⑩	月	火	水	木	金	土	⑪	月	火
ニュートラック福島	盛岡							盛岡				笠松		盛岡					浦和		盛岡				名古屋				盛岡		
オーブス磐梯												川崎							浦和						船橋						大井

(11月)

日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
曜	水	木	⑤	土	⑥	月	火	水	木	金	土	⑦	月	火	水	木	金	土	⑧	月	火	水	⑨	金	土	⑩	月	火	水	木
ニュートラック福島				盛岡					笠松				水沢					水沢								水沢				
オーブス磐梯				大井					川崎																					

※ 発売日程は、変更になることがあります。

地方競馬の収益金は、畜産の振興や馬に関する伝統行事の保存、街づくり、学校・病院の整備などに役立っています。



地方競馬全国協会